

## 第 25 回ホソカワ粉体工学シンポジウムを初めて大学で開催 The 25<sup>th</sup> Hosokawa Powder Technology Symposium Held at the University for the First Time

2018年8月10日(金)に、粉体技術談話会が主催するホソカワ粉体工学シンポジウムが同志社大学京田辺キャンパスの恵道館で開催されました。本会は、1990年にスタートし、暫くブランクがあったもののその後原則年1回開催され、現在はホソカワ粉体工学振興財団との共催で、ホソカワミクロンが後援しています。今回第25回記念を迎え、初めて大学での開催となりました。同大学は丁度夏休みに入ったところで、校内の人影は少なく、学内の生協等も締まっているところが多かったものの、本会には、大学、企業から100名を超える参加者がありました。



講演会場「恵道館」正面

今回の講演会のテーマは「化粧品や医薬品で活躍する粉体工学」で、粉体技術談話会幹事の奥山喜久夫広島大学名誉教授の総合司会により進行されました。セッション1は同志社大学の森康維教授が座長を務められ2件の講演がありました。講演1では神戸学院大学の市川秀喜教授から、マイクロサイズの従来型医薬品製剤において、造粒・コーティング製剤を中心にして原薬や添加剤にナノ粒子を使ってnmオーダーの微細構造を設計・制御し、高機能化

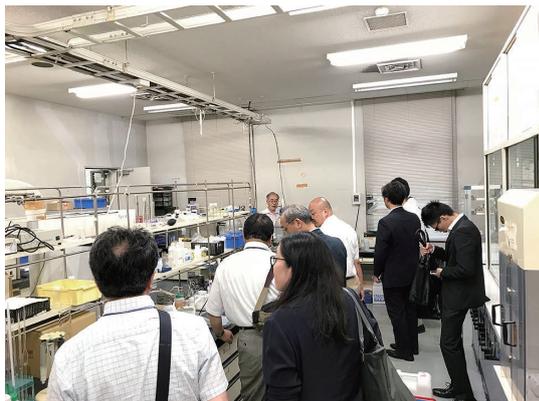
を図る取組みが紹介されました。講演2では、ホソカワミクロン株式会社製薬・美容科学研究センターの杉井祐太研究員から、化粧品製剤におけるナノ粒子の活用について、DDS機能を有する生体適合性PLGAナノ粒子をスキンケア製品や育毛剤の高機能化に活用している事例について説明がされました。



講演風景

セッション2は同志社大学の白川善幸教授が座長を務められ、同大学電気工学科小山大介教授から、超音波の様々な機能の中で、特に強力超音波の特性とそのDDSへの応用に焦点を当てた講演があり、超音波マニピュレーションやマイクロバブルを使った超音波DDSなどについて解説されました。引き続き、ホソカワミクロン人事部の藤田部員から、ホソカワミクロンの会社紹介が行われました。講演会の終わりに、当粉体技術談話会の齋藤会長（東北大学名誉教授）から閉会のご挨拶があり、今回の大学での開催の意義と粉体工学の重要性について言及されました。

講演会の後、主に大学外からの参加者を対象として見学会が行われ、3つのグループに分かれて、至



見学風景



懇親会風景

心館にある、①移動現象研究室、②分子化学工学研究室、③粉体工学研究室で粉体や微粒子に関連したテーマを中心に、先生方や学生さんから分かりやすく丁寧な説明がされました。

その後、学内の紫苑館2階にて懇親会が行われ、講演会出席者の多くの参加がありました。初めに、粉体技術談話会副会長で、ホソカワミクロン会長兼社長のホソカワ粉体工学振興財団細川悦男理事長か

ら乾杯のご挨拶がありました。懇親会の半ばで、同志社大学出身のホソカワミクロン社員5名から一言ずつ思い出や感想が述べられ、昔話に花が咲きました。懇親会の終わりには、粉体技術談話会監査役の同志社大学日高重助名誉教授から粉体工学の重要性和今後のさらなる発展への期待が述べられ、懇親会も盛況の内に終了しました。

次 第

1. はじめに (総合司会) 広島大学名誉教授 奥山 喜久夫
- 【セッション1】(座長) 同志社大学 教授 森 康維
2. 講演1 「医薬品製剤におけるナノ粒子の活用—造粒・コーティング製剤を中心に」  
神戸学院大学薬学部教授 市川 秀喜
3. 講演2 「化粧品製剤におけるナノ粒子の活用—DDS 機能を有する生体適合性 PLGA ナノ粒子の実用例を中心に」  
ホソカワミクロン株式会社 マテリアル事業部 製薬・美容科学研究センター 杉井 祐太
- 【セッション2】(座長) 同志社大学教授 白川 善幸
4. 講演3 「超音波でみる・動かす・測る—DDS への応用—」  
同志社大学理工学部教授 小山 大介
5. ホソカワの案内 ホソカワミクロン株式会社 総務人事部 藤田 愛
6. おわりに 東北大学名誉教授 齋藤 文良
7. 研究室の見学
8. 懇親会